

令和3年11月5日（金）に開催された学校給食審議会（第2回）以後、各保護者代表者委員が関係団体内部（その構成員である一部の保護者を含む）にて、播磨町学校給食審議会において「学校給食費の額の妥当性について」を検討するに当たって必要と考えられる保護者の意見を聴取等したため、当該意見を次のとおり集約し、検討資料として提出する。

なお、本資料に掲載する意見等は、全保護者の意思統一や意見集約を図ることは現実的ではないという前提のもと、各保護者代表者委員が現行の学校給食費に係る社会情勢等を説明した上で関係団体内部や個別の関係性から保護者の意見を聴取したものである。

- ・ 総論として「増額もやむを得ない」という意見が多かった。
- ・ 社会情勢を考えれば、今までこの価格帯で運用してこられたことが有難いことだと感じた。
- ・ 子どもたちには色んなものを食べて欲しい。
- ・ 献立によっては、一昔前の子どもたち（親世代や今の子どもたちの兄弟姉妹）が食べていたものを今の子どもたちが食べられていない（知らない）という事態もあると思ひ至り、その理由が値段によるものなら何とかしてあげたいと思った。
- ・ 増額もやむを得ないという意見が多かった一方で、可能なら現行価格のままでも良いのではないかという意見もあった。
- ・ ある程度増額の必要性を感じているからだと思われるが、絶対に増額して欲しくないという意見は聞こえてこなかった。
- ・ 現行の学校給食費の額は、妥当な価格又は安いと感じている人が多かった（一方で全保護者の中には高いと感じている人も一定数いるとは思う）。
- ・ 今まで学校給食費の仕組みや過去からの額の推移を知らなかったので、学校給食費の状況が分かって良かった。